



潟上市章

かたがみ  
Katagami

# 市議会だより

第24号



オープン間近（左：食菜館「くらら」、右上：追分保育園、右下：フットボールセンター）

## 3月定例会

H23(2011)04.01

平成23年(2011年)  
4月1日発行

3月定例会	2～3	一般質問	7～10
住民投票条例	4	委員会報告	11～13
議案審査結果・陳情	5	一部事務組合定例会	14
第1回臨時会	6		

2011年  
3月定例会

2月23日～3月16日

平成23年度  
(当初予算総額)

一般会計  
各特別会計・企業会計

134億7,500万円  
94億591万8千円 を可決

人に優しい安らぎのある住環境整備

3月定例会は、2月23日から3月16日まで22日間にわたり開かれました。  
一般質問者7名、審議した議案は条例・規約など7件、計画3件、補正予算12件、特別会計への繰り入れ3件、当初予算12件、いずれも原案どおり決まりました。

基金現在高(見込)

(単位：千円)

	平成22年度末	平成23年度増減	平成23年度末
財政調整基金	1,047,649		1,047,649
減債基金	44		44
ふるさと創生基金	6,718		6,718
市役所庁舎建設基金	1,000,000		1,000,000
観光振興基金	536		536
小学校建築基金	20,846		20,846
スポーツ振興基金	1,046		1,046
宿泊施設運営振興基金	16,355	▲ 7,122	9,233
地域福祉基金	9,558		9,558
ふるさと水と土保全基金	7,586		7,586
ふるさと応援基金	5,936		5,936
住民生活に光をそそぐ基金	30,000	▲ 16,105	13,895
合計	2,146,274	▲ 23,227	2,123,047

一般会計歳入性質別予算

(単位：千円、%)

区分	一般財源		特定財源		合計	構成比
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1 市 税	2,421,116	18.0			2,421,116	18.0
11 分担金及び負担金			129,629	1.0	129,629	1.0
12 使用料及び手数料			185,208	1.4	185,208	1.4
15 財産収入	21,477	0.2	5,786		27,263	0.2
16 寄附金	1				1	
17 繰入金			52,837	0.4	52,837	0.4
18 繰越金	100,000	0.7			100,000	0.7
19 諸収入	8,264	0.1	149,531	1.1	157,795	1.2
小計	2,550,858	19.0	522,991	3.9	3,073,849	22.9
2 地方譲与税	136,000	1.0			136,000	1.0
3 利子割交付金	7,000				7,000	
4 配当割交付金	1,000				1,000	
5 株式等譲渡所得割交付金	1				1	
6 地方消費税交付金	254,000	1.9			254,000	1.9
7 自動車取得税交付金	24,000	0.2			24,000	0.2
8 地方特例交付金	39,000	0.3			39,000	0.3
9 地方交付税	6,144,663	45.6			6,144,663	45.6
10 交通安全対策特別交付金	4,000				4,000	
13 国庫支出金			1,758,858	13.0	1,758,858	13.0
14 県支出金			754,729	5.6	754,729	5.6
20 市 債	510,000	3.8	767,900	5.7	1,277,900	9.5
小計	7,119,664	52.8	3,281,487	24.3	10,401,151	77.1
合計	9,670,522	71.8	3,804,478	28.2	13,475,000	100.0

予算概要 主な事業

- 新規 観光施設無料循環バスの運行 700万円
- 新規 地方税電子申告システムの導入 478万8千円
- 新規 住民生活に光をそそぐ交付金事業 (消費者行政の充実、自殺予防対策事業) 1,610万5千円
- 自治基本条例の制定 385万9千円
- 市役所庁舎建設事業 (検討委員会設置) 74万5千円
- 新規 出戸認定子供園 (仮称) 整備事業 3億2,507万9千円
- 追分保育園施設整備事業 4,380万円
- 少子化対策事業 1,980万4千円
- 新規 緊急予防接種事業 (細菌性髄膜炎予防、子宮頸がん予防) 3,942万2千円

- 新規 クリーンセンター改修事業 (調査費) 854万8千円
- 緊急雇用創出臨時対策基本事業 6,054万7千円
- 新規 営農維持推進助成金 1,461万8千円
- 商工会共通商品券事業補助金 1,000万円
- 住宅リフォーム補助金 3,900万円
- 新規 出戸小学校耐震改修・大規模改造事業 2億7,906万6千円
- 新規 国指定重要文化財小玉家住宅防災設備整備事業補助金 1,013万4千円
- 教育用コンピュータ整備事業 2,635万5千円 (平成25年度まで市内の全小中学校に配置)

一般会計当初予算総括表

《歳入》 (単位：千円、%)

款	本年度	構成比	増減率
1 市 税	2,421,116	18.0	▲ 1.3
2 地方譲与税	136,000	1.0	▲ 4.9
3 利子割交付金	7,000	0.0	▲ 22.2
4 配当割交付金	1,000	0.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	1	0.0	0.0
6 地方消費税交付金	254,000	1.9	0.0
7 自動車取得税交付金	24,000	0.2	▲ 25.0
8 地方特例交付金	39,000	0.3	18.2
9 地方交付税	6,144,663	45.6	11.3
10 交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	0.0
11 分担金及び負担金	129,629	1.0	10.2
12 使用料及び手数料	185,208	1.4	▲ 2.3
13 国庫支出金	1,758,858	13.0	2.4
14 県支出金	754,729	5.6	▲ 2.6
15 財産収入	27,263	0.2	361.5
16 寄附金	1	0.0	0.0
17 繰入金	52,837	0.4	25.6
18 繰越金	100,000	0.7	0.0
19 諸収入	157,795	1.2	▲ 44.3
20 市 債	1,277,900	9.5	▲ 36.5
歳入合計	13,475,000	100.0	▲ 1.6

《歳出》 (単位：千円、%)

款	本年度	構成比	増減率
1 議会費	242,648	1.8	34.1
2 総務費	1,515,148	11.3	▲ 27.9
3 民生費	5,007,901	37.2	1.7
4 衛生費	894,298	6.6	8.2
5 労働費	66,766	0.5	8.0
6 農林水産業費	356,162	2.6	▲ 6.9
7 商工費	211,303	1.6	4.5
8 土木費	1,367,675	10.2	▲ 7.5
9 消防費	786,837	5.8	▲ 1.7
10 教育費	1,416,637	10.5	30.5
11 災害復旧費	2,000	0.0	0.0
12 公債費	1,592,625	11.8	▲ 2.4
13 予備費	15,000	0.1	0.0
歳出合計	13,475,000	100.0	▲ 1.6

各特別会計・企業会計予算

(単位：千円、%)

会計名	本年度	増減率
① 国民健康保険事業特別会計	3,694,652	▲ 0.6
② 後期高齢者医療特別会計	247,968	▲ 5.2
③ 介護保険事業特別会計	2,748,489	2.5
④ 農業集落排水事業特別会計	157,771	▲ 10.4
⑤ 下水道事業特別会計	1,224,463	▲ 12.3
⑥ 合併処理浄化槽事業特別会計	6,158	10.3
⑦ 豊川財産区特別会計	1,458	280.7
⑧ 下虻川財産区特別会計	1,010	▲ 6.2
⑨ 和田妹川財産区特別会計	643	1.9
⑩ 飯塚財産区特別会計	757	▲ 5.0
⑪ 水道事業会計	1,322,549	60.0
老人保健特別会計	廃止	▲ 100.0
有線放送事業特別会計	廃止	▲ 100.0
土地取得事業特別会計	廃止	▲ 100.0
計	9,405,918	3.2

一般会計歳出性質別予算

(単位：千円、%)

区分	本年度	構成比	増減比
義務的経費	7,115,241	52.8	8.0
人件費	2,965,466	22.0	24.6
扶助費	2,557,150	19.0	▲ 0.7
公債費	1,592,625	11.8	▲ 2.4
投資的経費	1,272,937	9.4	▲ 26.0
普通建設事業費	1,270,937	9.4	▲ 26.0
うち補助事業	141,483	1.0	▲ 67.5
うち単独事業	1,129,454	8.4	▲ 11.9
災害復旧事業費	2,000	0.0	0.0
その他	5,086,822	37.8	▲ 5.6
うち物件費	1,666,281	12.4	▲ 16.9
うち補助費等	1,322,961	9.8	3.8
うち一組負担金	805,551	6.0	▲ 1.0
うち繰出金	1,820,619	13.5	▲ 4.9
歳出合計	13,475,000	100.0	▲ 1.6

# 潟上市新本庁舎建設に関する 住民投票条例制定について

採決結果：否決されました

## 住民投票条例は必要

(市長の意見に反対)

中川 光博・澤井昭二郎・菅原 義久  
伊藤 栄悦・戸田 俊樹・佐藤 久  
小林 悟・鈴木斌次郎・佐々木嘉一

## 住民投票条例は不要

(市長の意見に賛成)

大谷 貞廣・児玉 春雄・藤原 幸作  
菅原理恵子・岡田 曙・佐藤 昇  
藤原 典男・西村 武・堀井 克見  
藤原 幸雄

## 提案理由(石川市長)

地方自治法第74条第1項の規定による条例の制定請求を受理したため、同条第3項の規定により意見をつけて議会に付議する。

## 条例制定請求の要旨

(明るい潟上市を創る市民の会)

「新庁舎建設計画を中止し、現施設活用を求める陳情書」を提出したが不採択となった。その反響は大きく、議会に声が届いていないのではないかと立ち上がった。私たちは「本庁方式」か「分庁方式」かの新本庁舎建設に関する賛否を問うための条例を次の提案を要旨として提案する。

1. 天王庁舎は第一庁舎。現公民館敷地内に公民館と合築。
2. 飯田川庁舎は教育委員会。2階は図書館。
3. 昭和庁舎は第二庁舎。追分出張所は拡充。
4. 二田保育園と天王幼稚園は統

合・改築して庁舎用地の確保。5. 幹線道路網の整備など。

## 条例案の内容(要旨)

(結果の尊重義務) 投票の結果を市長および議会は尊重しなければならない。

(執行) 投票は市長が執行し、その期日は市長が定めた日とする。  
(資格者) 投票有資格者は満20歳以上の日本国籍を有するもの。  
(投票運動) 自由に行うことができる。

## 市長の意見書(要旨)

潟上市新本庁舎建設に関する条例案については制定の必要がないと考えている。

新庁舎の建設は旧3町で議決された重要な約束事であり、協定に沿った街づくりが市長に課せられた使命である。

これまで議会には説明・協議を行ってきたおり、民主的手法にのっとり進められた適切なものであると認識している。

分庁方式は緊急避難的な措置であり、最も負担を課せられるのは市民である。本市のようなコンパクトな自治体に複数の庁舎があることは行政のスリム化を目指した合併の意義に反する。災害時の対応に万全を期すためにも十分に対応できる本庁舎が必要である。今後市民、議会には情報の公開

や説明の機会を設けることをお約束する。

## 主な質疑応答

署名の地区的な人数と割合は。署名は市民の総意と考えるか。

署名数1,616は有権者の5・58パーセント。天王地区は26名、昭和地区739名。飯田川地区851名。市民の総意・民意ととらえるには疑問がある。

5つの提案事項の概算の予算規模。実現の可能性は。

条例は必要ないという考えであり検討するには至らず、提案の内容も具体的なものではない。一別して提案の1から3は合併特例債の対象外ではないかと思う。

瑕疵・不備がある条例を可決した場合の所見は。

請求者からの提出のとおり議会に提示している。条例は必要ないというのがあるが、それも所見である。条例の不備とは何か。

条文の字句には間違いがある。

## 討論

### ◆ 条例案に反対 (堀井 克見)

根本は「財政状況の悪化」だがそのような状況ではない。提案には実現の可能性・検討の余地はなく、分庁方式の問題点等については市より詳細に説明済である。署名の1,616は少数で、昭和・飯田川地区に偏っており、市民の総意とは判断できない。

投票が必要なのは、「多くの市民から投票を望む声があり、市も議会も判断を市民に委ねるのが最善の策である」と判断したときである。

### ◆ 条例案に賛成 (佐藤 義久)

請求団体の主張に賛同する。市民は自らの意思を表示するものとして条例を請求したもので議会はその行為を無にしてはならない。

### ◆ 条例案に反対 (菅原理恵子)

市には建設候補地選定、現庁舎利用検討委員会の中で納得のいく結論をだしていただき、市民にわかりやすい情報の提供をお願いする。住民投票により住民間に感情的な対立を残さないかを大きく懸念する。重大事項を投票に委ねることは議会、市長の責任回避でもある。

### ◆ 条例案に賛成 (伊藤 栄悦)

憲法と法律に基づく市民の権利である直接請求制度によるものである。建設基本構想が策定されてから候補地が決定しないままである。議会の特別委員会では、候補地を決定し、まちづくりの将来像を市と議論できなかった。このことが請求となつたのではないか。投票条例が成立・実施されても結果は参考であり、最終判断はあくまでも議会である。

### ◆ 条例案に反対 (藤原 典男)

最低投票率の条項がなくわずかの投票率でも議会がそれを尊重しなければならぬ点が重大な瑕疵がある。5つの提案にそって行政運営が縛られる請求要旨であることもさらに大きな問題である。

### ◆ 条例案に賛成 (中川 光博)

潟上市の政治理念は市民による、市民のための政治が政策を通して実現されていくもの。住民投票は自らの意思を主張したい旨の法の下での権利の行使である。

# 議案など審査結果一覧

## 専決処分

- ・損害賠償の額を定めることについて (報告)
- ・一般会計補正予算 (承認)

## 条例

### 原案可決

- ・住民生活に光をそそぐ基金条例 (案) について
- ・都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例 (案) について
- ・開発許可等手数料徴収条例 (案) について
- ・敬老祝い金条例の一部を改正する条例 (案) について
- ・都市公園条例の一部を改正する条例 (案) について

## 計画などの議決

### 原案可決

- ・総合発展計画基本構想の変更について
- ・総合発展計画後期基本計画 (案) について
- ・地域福祉計画 (案) について

## 規約の変更

### 原案可決

- ・秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について

## 補正予算

### 原案可決

主なものは、一般会計のきめ細かな交付金事業費、住民生活に光をそそぐ交付金事業費の増額。

- ・一般会計補正予算 (案) について
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算 (案) について
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算 (案) について
- ・介護保険事業特別会計補正予算 (案) について
- ・農業集落排水事業特別会計補正予算 (案) について
- ・下水道事業特別会計補正予算 (案) について
- ・合併処理浄化槽事業特別会計補正予算 (案) について
- ・豊川財産区特別会計補正予算 (案) について
- ・下虻川財産区特別会計補正予算 (案) について
- ・和田妹川財産区特別会計補正予算 (案) について
- ・飯塚財産区特別会計補正予算 (案) について

## 各会計への繰り入れ

### 原案可決

- ・水道事業会計補正予算 (案) について

- ・農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて
- ・下水道事業特別会計への繰り入れについて
- ・合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れについて

## 当初予算

### 原案可決

- ・一般会計予算 (案) について
- ・国民健康保険事業特別会計予算 (案) について
- ・後期高齢者医療特別会計予算 (案) について
- ・介護保険事業特別会計予算 (案) について
- ・農業集落排水事業特別会計予算 (案) について
- ・下水道事業特別会計予算 (案) について
- ・合併処理浄化槽事業特別会計予算 (案) について
- ・豊川財産区特別会計予算 (案) について
- ・下虻川財産区特別会計予算 (案) について
- ・和田妹川財産区特別会計予算 (案) について
- ・飯塚財産区特別会計予算 (案) について

## 道路認定

### 原案可決

- ・水道事業会計予算 (案) について
- ・市道路線の認定について

## 陳情

### 採択

- ・最低保障年金制度の制定を求める陳情
- ・労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求める陳情書
- ・最低賃金の大幅引き上げと、中小企業支援の拡充を求める陳情書

### 趣旨採択

- ・高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める陳情
- ・2011年度 年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める陳情

### 不採択

- ・辺野古への新基地建設、米軍訓練の全国への移転拡充を約束した「日米合意」の撤回を政府に求める意見書について

### 継続審査

- ・学校薬剤師報酬改善に関する陳情書 (総務文教)

# 第1回臨時議会

第1回臨時議会は1月25日に開催されました。

当局より提案された一般会計補正予算(案)については、公共用地取得に伴う予算を減額した修正案が(提出者・伊藤栄悦、賛成者・戸田俊樹、小林悟、鈴木斌次郎)提出されました。

## 当局案は修正すべき

(市の提案に反対)

中川 光博・藤原 幸作・菅原理恵子  
澤井昭二郎・菅原 久和・伊藤 栄悦  
戸田 俊樹・佐藤 義久・小林 悟  
鈴木斌次郎・佐々木嘉一

## 当局案の修正は不要

(市の提案に賛成)

大谷 貞廣・児玉 春雄・岡田 曙  
佐藤 昇・藤原 典男・西村 武  
堀井 克見・藤原 幸雄

採決の結果、修正案が可決されました。

## 当局提出議案の内容

公共用地取得に伴う調査費(用地測量調査委託料667万2,000円と、土地鑑定業務委託料351万9,000円)、庁舎建設基金積立金1億円、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金事業(2,082万3,000円)の追加。

## 修正案の提出

◎提案理由 (伊藤 栄悦)

候補地選定、最適格地決定への市

民参加による意見聴取、反映はなく、議会へは報告のみで協議もないまま現在に至っている。行政当局はしっかりと選定基準を定め、建設候補地を総合的に検討し、議会に提案すべきであると考え、公共用地取得に伴う調査費を減額した修正案を提案する。

## 提出者に対する主な質疑と応答

問 どのように市民の声を聞けばよいと考えるのか。

答 建設基本構想の協議の際に、ブリックコメント、地域審議会への諮問、天王地区住民への説明会の実施の話が市からあった。

問 庁舎建設調査検討特別委員会で、特別の意見・異論もなかったのでも当局は説明責任を果たしているのでは。

答 提案理由を申し述べたそのことが、私の本当の理由であり、動議の提案の主要部分である。

問 C候補地を調査しているのが、建設地の決定だと勘違いしているのではないか。調査しないと、その土地が良いのか悪いのかはわからないのでは。

答 最適格地というのは国語の辞書にあるように、ほかに比類のない、比べものにならない候補地としての良さを持つている土地という意味。最適格地と表現し調査費を出すことは大きな意味がある。調査費を予算措置するならA・B・Cを全部やるのであれば納めはできるが。

問 修正をかけるのであれば、対案を出すべき。「だめだ」では「何がだめなのか」当局もわからないし市民もわからない。その説明責任を議会の誰が負うのか。

答 二元代表制で何でもチェックして「だめだ」という消極的な考え方で提案はしていない。庁舎の位置がいかに重要であるかということを確認している。建てるなどか、A・B・Cだめだとかという観点には立っていない。

## 修正案に対する討論

◎修正案に反対 (西村 武)

庁舎建設調査検討特別委員会が設置され、市からは説明を受け、A・B・C以外の適正な土地があるならば当局としてそれも承りたいという申し出があったが、誰一人として議員の中からA・B・C以外の候補地を提言した者はいない。今回の予算は、まさに市民の意見を反映させるための予算であり、反対する(修正する)理由は全くない。

◎修正案に賛成 (佐藤 義久)

修正動議の提出理由は、これまでの経緯、経過を的確に指摘したものである。市民の声を聞く地域審議会もこの議会の後になるよう手順が逆としか言いようがない。当局は再スタートラインに立って進めていくべきものである。

◎修正案に反対 (堀井 克見)

庁舎建設調査検討特別委員会で市当局から提示された資料ならびに説明を聞いた範囲ではこれまでの庁舎

建設の進め方に異を唱えるところはなく、市当局の進め方に沿って粛々と進めていくべきである。今後の進め方にも懸念される事項はない。予算の削除は、またも市当局に建設スケジュールの見直しをさせることになり、このことには当然、修正案を提出する議員は責任を持たなければならぬ。

また、調査費の予算措置イコール建設地の決定ではない。調査もしない、議会が対案も提案もしないで時間だけが過ぎるのは、公費の無駄使いどころの次元ではない。

市民の声を聞かなければならない、民意を反映しなければならぬ、その手順が市当局から示されないという建前論に終始し、そこから全く前に進まず、自分の考え方を示さない、示そうとしない、示せない、あるいは自分で考えようとしても議員は、議員としてしては最も恥ずべきものである。

◎修正案に賛成 (中川 光博)

庁舎建設地の選定に当たっては、慎重の上にも慎重に進めなければならぬ。合併後、新庁舎を建設した多くの自治体では、建設候補地の選定に当たり市民も参加する第三者機関として建設候補地選定委員会を設置し、しっかりと選定基準にのっとり候補地の決定に至っている。市民最優先の政治理念の下、明確な選定基準の下でA・B・C候補地について議論を積み重ね、市民が納得できる候補地の決定に至るべきではないか。

# 一般質問

## 雇用対策について

**問** 国や県の雇用対策を受けて、どの分野、規模で確保に当たっているか。中小業者への対策については。

**答** 潟上市商工会では21年度から求人コーディネーターを配置し企業訪問で求人掘り起こしを行っています。本市では緊急雇用創出臨時対策基金事業と市単独事業により22年度まで124名の雇用を創出し、23年度は公園環境整備など環境部門で18名、学校安全サポート員など教育分野で13名、全9事業で46名見込んでいます。



潟上市商工会

## 税金滞納者への対応について

**問** 税金滞納世帯への対応では年金や預貯金、給与の全額差し押さえをする自治体も出てきたが、生

藤原典男 議員

存権を奪うもの。本市での対応は。

**答** 分納誓約している方については差し押さえは行っていません。預貯金については3カ月前の取引状況を見ながら特に給料の振込口座は本人の承諾を得た上で生活の権利を尊重できる範囲に配慮しています。徴収のみならず月の最終の日曜日には納税相談を設けています。督促、催告通知に何も連絡がない場合には差し押さえ前に予告文書の送付をしています。

## 長寿社会への取り組みについて

**問** 健康への取り組みや人間ドック補助人数の拡大、脳ドック受診への補助は。

**答** 特定健診は今年から希望者に対し眼底検査を行います。胃がん健診は胃力メラ健診の補助人数を拡大しています。国保加入者の人間ドックへの補助枠は120名ですが、前年並みに実施し拡大を検討します。脳ドックは関連事業も見ながら補助を検討します。

## 第2次行政改革大綱について

### 職員の意識改革の推進

**問** 行政組織の再編見直しにおける意識改革の推進と人事評価制度導入の考えは。

また、健全な自治体経営を推進するため補助金等の整理、合理化は。

**答** 23年度から勤務評定制度を取り入れることにより職員全体の業務遂行能力が底上げされるものと期待しています。この後、人事評価制度への移行を念頭に、さらに勤務評定制度の充実に努めます。補助金等の見直しについては、23年度で7件廃止の措置がとられます。交付先団体との交渉、協議を実施してきた成果が表れたものと思います。

### 天王庁舎における危機管理

**問** 分庁方式は極めて非効率的です。天王庁舎は老朽化が激しく、災害発生時が心配であるが管理体制は。

**答** 安否情報体系や全国瞬時警報体系等の整備による危機管理体制の強化を進めています。天王庁舎は耐震基準をクリアしておらず、災害対策拠点施設となるべき庁舎

大谷貞廣 議員

の機能を充足できない状況です。高度情報化に対応する電子機器類も施設の構造上増設は不可能です。

分庁方式による事務処理上の持ち回り決済等、市の意志決定を瞬時に行えない状況は危機管理と併せて大きな問題で、このような状況を早期に解消すべく新庁舎の建設を進めていきます。

### 国民文化祭について

**問** 平成26年度国民文化祭が本県で開催される。全市町村が何らかの形で関わる祭典だと思いが対応は。

**答** 県は23年度に基本構想を策定し、24年度には実行委員会を立ち上げ事業ごとの実施計画を検討します。地域が元気になるよう、芸文協等関係団体と協議しながら積極的に取り組めます。



潟上市役所 天王庁舎

## 誇れる施策の充実を

### 幼保一体化…認定こども園について

**問** 保育園と幼稚園を現在の8園から5園に統合する計画もあるが、こうした施策に対する期待は何か。誇れる施策のテーマか。

**答** より良い保育、教育環境を整え幼稚園、保育園の垣根を越え、一体的な教育、保育を目指します。また、幼児期的人格形成に必要な教育の充実を図ります。民営化の方向についてはメリット、デメリットを検証し、今後の課題です。保育園の統合廃止については、地域の意見を聞き総合的に検討します。

### 自治会集会所の改築等整備計画について

**問** 自治会集会所の改築計画については建築年次等老朽化の度合により計画的に整備すべきでは。

**答** 集会所は市内に99施設があります。建築後30年経過施設が38カ所、20〜29年の施設が22施設、財政状況により計画的に整備を進めます。

佐々木 嘉一 議員

### 潟上市第一次産業(農業、林業)の振興について

**問** 水田農業のほか果樹、花き、野菜等生産向上の振興策を具体的に進め、市農業の潜在力を引き出すには。

**答** 水田農業は米価の下落により厳しい。複合経営、農地集積によりコスト引き下げのほか、地産地消等戦略作物の導入をすすめ、関係機関、農家の一体化推進を図る。



ハウス栽培

## 総合発展計画について

**問** 人口は基本計画の根幹である。3万6,000人の設定と根拠は。

**答** 県都秋田市に隣接する地理的条件、若年層が多いことから、都市計画法の土地利用規制緩和策の導入、幼保一体化施設の整備、母子保健の充実などによる子育て支援、企業誘致や雇用の受け皿としての各種産業振興を図りながら、目標人口に近づけたい。

**問** 芸術文化施設整備の方針は。

**答** 文化振興という本来の目的を見据えながら、今後の整備計画を考えていきます。

### 都市計画について

**問** 住宅等開発のため都市計画法第34条第11号を条例化した、市自らの開発計画は。市街化区域の農地課税対策をどのようにするか。大久保駅東西自由通路の整備と踏切対策と大清水地区の新駅設置検討の考え方は。

**答** 宅地開発は民間主導で行います。農地課税は土地所有者の意向により逆線引き、生産緑地等の指定変更を検討します。大久保駅東西自由通路は早期の実現化に向けて取り組みます。踏切は平成23年

藤原 幸作 議員

度当初予算に調査費を計上し、実現化の検討に入っています。大清水地区の新駅設置は、この地区の諸条件を最大に生かし、土地利用を進めていくことが最良との判断から可能性を検討します。



大久保踏切

### 道路整備について

**問** 国道7号上り線から八郎潟ハイツ方面への右折対応とクリンセンターへ通じる狭い市道の対策は。

**答** 国道は公安委員会、国へ要望し、市道は一部脱輪防止対策を施工します。

# 一般質問



# 一般質問



## 財政問題について

西村 武 議員

**問** 長引く不況で市税の落込みが大きい、今後の市単独事業との関連は。

**答** 限りある財源の重点化を図りながら、市民の安全安心を重視した施策や市民生活に密着した地域要望に配慮します。市単独事業の中で最も大きい事業は新庁舎建設であり、合併特例債を活用するためにも、平成26年度までの優先順位の高い事業と考えています。



マイタウンバス

## 災害問題について

**問** 本市の防災力を今一度検証しては。

**答** 防災訓練を通して災害時に迅速に対応できるように備え、必要に応じ防災マップ、避難計画の再検証を図ります。災害時の備蓄に

ついては、毛布・乾パン等を各施設に分散して備えています。また、防災計画の見直しは、上位計画である県の見直しを受けた後のため、23年度以降になると考えています。

## 教育問題について

**問** 幼児・児童・生徒のむし歯対策は。

**答** むし歯予防のための「フッ化洗口」の導入については、関係機関と協議を進め、保護者の理解が得られれば、実施に向けて検討します。健康推進課と教育委員会が連携し、歯の大切さについてより一層取り組みたいと思います。

**問** 行財政改革や民間活力を図るため、市体育協会の法人化への考えは。

**答** 法人化については、体育協会の役員会及び理事会において検討され、一般財団法人やNPO法人へ向けての話し合いが行われています。今後の体育協会のあり方について、市スポーツ振興審議会への諮問も視野に入れて審議されることも一つの方策と考えています。

## 健康かたがみ21について

岡田 曙 議員

### 健康増進計画の策定状況は

**問** 「健康かたがみ21」を策定するにあたり、潟上市らしい理想像にむけての重点目標は何か。

**答** 潟上市は生活習慣病による死亡の割合が高いので、疾病の早期発見・早期治療のための健診、運動や心の健康、健康な生活習慣、生活環境などを重点分野として進めていきたいと考えています。

### 学校給食の衛生管理について

**問** 安心安全を条件にした給食の管理体制は。

**答** 定期的に調理員の研修会を開催し、徹底した管理に努めております。今後、検査機器によるATP拭き取り検査を実施し、食中毒事故の防止に対応できるよう「学校給食衛生管理」の基準に基づき細心の注意を払っていきます。

### 人口動態について

**問** 市の昨年1年間の死亡者数は409名、出生者数は202名でした。さらに、婚姻率は低く、離婚率は高めで推移していますが、今後の対策は。

**答** 子育て支援を充実し、環境を整備して、若い世代の人たちが安住先として選択できるよう、魅力と活力あるまちづくりをめざします。また、23年度から県、市町村が少子化対策の一環として「あきた結婚支援センター」を設立します。婚姻率が上がるよう、官民一体となって支援していきます。





# 一般質問



## 市総合発展計画実現の取り組みを

### 市民に開かれた市政の実現を

**問** 市民が市政に参加し、声を反映させるには、行政情報を開示させる「情報公開情報条例」内容が重要。本市条例には情報開示請求権の根拠づけとなる「知る権利」「説明責任」などはない。また「開示請求者の市内限定」等々不十分である。条例改正する考えは。

**答** 市民に対し、行政情報を開示するという事が基本原則です。現市情報公開条例では、開示請求権者は市民に限定されており、より積極的な情報開示推進を図るため、情報開示限定規定を「何人も…」可能となるよう改正について他自治体の状況を含め検討しています。

### 地域審議会員の在り方は

**問** 合併時、旧町の重要事業が新市建設計画に策定され、事業変更時は市長が関係地域審議会に諮問し答申を受けることになっている。豊川小学校建設、クリーンセンター建設、産直センター事業など、廃止、新規事業等の変更があった場合、諮問・答申する考えは。

伊藤 栄悦 議員

**答** 変更が必ず必要な事項は、新市建設計画に全く計画のなかった事業で合併特例債を活用する場合です。新市建設計画にある個別事業については、上位計画である市総合発展基本計画に委ねられる事になっており、個別事業の取捨選択は市長に委ねられている。新市建設計画に計画のなかった事業で合併特例債活用の産直センター等については新市建設計画の関連事業として申請し許可された場合は事業変更とはならない。クリーンセンターは、ごみ処理を目的とした内容変更はなく、したがって諮問・答申は考えていない。



クリーンセンター

## 東北地方太平洋沖地震による災害のお見舞いを申し上げます。

被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。  
 潟上市議会議員一同

潟上市議会でも被災者の支援および地域の復興に役立てていただくため、  
 全国市議会議長会を通じて義援金をおくることにいたしました。

### 市民からの 善意の輪が広がる

3月17日から20日までの4日間、各公民館、勤労青少年ホームに毛布、衣類などたくさんの救援物資が届けられました。



# 総務文教

市はどう答えたか

委員長 菅原 久和  
副委員長 小林 悟  
委員 藤原 典男  
委員 西村 武  
委員 鈴木 斌次郎  
委員 堀井 克見  
委員 千田 正英

## ●平成22年度一般会計補正予算

**問** きめ細かな交付金事業の耐震診断委託料は。

**答** 東湖小学校、追分小学校、天王中学校の校舎と天王中学校の体育館です。昭和56年以前の建物が該当します。天王小、追分小の体育館は終了しており出戸小学校は平成23年の実施です。

**問** 園児バスの購入の契約方法は。

**答** 園児バスの取り扱い者は数社で指名競争入札を考えています。



園児バス

**問** きめ細かな交付金事業の選択基準、内容は。

**答** 国からの要綱では地域の課題を解決するために地域の実情に即して事業を行うために交付されるものです。生活環境課では、消費生活相談員充実のための非常勤職員人件費287万1,000円、健康推進課では自殺予防のための相談の充実、普及啓発として373万7,000円、総務学事課では小学校の図書購入費と図書のデータ化で1,739万2,000円、生涯学習課では図書館の環境備品と図書購入で600万円、計3,000万円の事業です。

## ●平成23年度一般会計予算

**問** 法人市民税の前年比較1,575万9,000円増の主な要因は何か。

**答** 前年より100万円以上の法人税割が伸びた法人は6社あります。医療法人、産業廃棄物

処理業者でこれらで1,500万円を超えています。

**問** 平成23年度の入湯税算定人数は何人と見込んでいますか。

**答** 24万1,372人で前年比2,240人の減で予測しています。

**問** 食堂、フットボールセンターの開設による天王温泉くららの集客もあるのではないかと。

**答** 月2回の休館日を1回にするなど集客に努めています。道の駅などとの一体管理の中で集客増加に創意工夫をしています。

**問** すこやか子育て事業の内容について。

**答** 保育料及び幼稚園使用料の保護者負担を軽減するための事業で世帯の状況により2分の1、4分の1、全額を補助する制度です。

**問** 観光施設無料循環バスの内容について。

**答** 現在のマイタウンバス運行路線に加え、出戸追分や飯田川地区等の運行を日曜、祝日に予定しています。

**問** 小玉邸の重要文化財としての工事内容は何か。

**答** 文化庁の指導に基づき火災予防と不審者の進入防止を遠隔操作で監視し初期消火に放水銃5基、防火水槽、避雷針などの設置で国より8割の補助です。



小玉邸（飯田川飯塚）

# 社会厚生

市はどう答えたか

委員長	佐藤 昇
副委員長	中川 光博
委員	児玉 春雄
委員	藤原 幸作
委員	岡田 曙
委員	佐々木 嘉一

## 敬老祝い金条例の一部を改正する条例

問 主な改正点は。

答 敬老祝い金の支給で、満百歳以上の方の居住年数を「1年以上」と改め、居住年数を緩和することで、広く高齢者の長寿を祝すものです。支給対象年齢は満年齢で金額の変更はありません。

## 平成22年度一般会計補正予算

問 火葬場使用助成金の範囲は。

答 秋田市、男鹿市、湖東地区の各火葬場の使用について助成しています。

問 子ども手当のシステム構築は国の状況に関係なく更新するか。

答 国の動向を見ながら対応していきます。3歳以下が2万円になった場合や給食費・保育料などの天引き等を想定し、それに対応できるようにしています。

問 中学生の子宮頸がん予防接種の状況は。

答 中学生の対象が521名で、1人3回の接種が必要ですが、約75パーセントが終了しています。

問 検診方法の変更等の理由により検診率が低下していますが対応策は。

答 この2月から自治会や様々な集会に出向いて各種検診の必要性について十分説明を行っています。この後も一本化になった健康生活推進協議会と連携し事業を進めていきます。

## 平成23年度一般会計予算

問 福祉医療の該当者件数は。

答 2月末で3,558件です。

問 ゴミ減量に係る生ゴミ処理容器的の助成状況は。

答 EM菌による生ゴミ処理の出前講座などを実施しています。処理容器も毎年30個位購入者があり、その分確実に減量につながっています。

問 消防団員の報酬は適正か。

答 潟上市の場合は、湖東地区の井川、八郎潟にあわせた報酬となっており、県内13市の中では、一番低くなっています。財政事情も厳しいですが、見直しについて、早めに検討します。

問 安全安心の確保等危機管理について、災害窓口の担当課は。



消防団出初め式

問 地震、自然災害等は生活環境課で、武力攻撃等国民保護は総務課が窓口となります。

問 広域消防の統合の進捗状況は。

答 負担金と財産管理の問題等でなかなか進展しませんが、協議を進めています。

問 新市建設計画で合併特別債を活用しゴミ処理施設を建設することになったが、合併特別債の対象にならなくなったのはなぜか。

答 ゴミ処理施設の構成町がそのまま合併し、新たな枠組みになったわけではないので、合併特別債の対象外となったものです。

問 安全安心の確保等危機管理について、災害窓口の担当課は。

温暖化対策を推進する「循環型社会形成推進交付金」を活用すべく、県、国と連絡調整を行っています。

## 平成23年度国民健康事業特別会計予算

問 一般会計からの繰り越し金は伸びているか。

答 前年度当初予算と比較して、358万5,000円増えています。

## 平成23年度後期高齢者医療特別会計予算

問 保険料の減額対象者数は。

答 7割軽減が2,244人、5割軽減が127人、2割軽減が240人、社会保険等の被扶養者であった者の5割軽減が562人です。

## 平成23年度介護保険事業特別会計予算

問 認知症サポーター養成講座を受講したサポーターの役割は。

答 講座をとおして認知症の知識を得ることにより、認知症に対して正しく理解し、サポーターだけではなく、地域全体で見守っていく体制づくりが大切だと考えています。

# 産業建設

市はどう答えたか

委員長	佐藤 義久
副委員長	伊藤 栄悦
委員	大谷 貞廣
委員	菅原理恵子
委員	澤井昭二郎
委員	戸田 俊樹
委員	藤原 幸雄

●**潟上市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例**

**問** 多様な土地利用の可能性は。

**答** 50以上の建築物が連たんにしている土地となり、地域は限られます。

**問** 秋田都市計画の枠組みから離脱し、独自の都市計画策定は。

**答** 最終目標には市独自の都市計画を策定し、市街化調整区域の線引きを廃止し、農振農用地区域で制限しながら集落内の開発を可能にしたいと考えます。

●**潟上市都市公園条例の一部を改正する条例**

**問** スカイトワーの展望塔の入場無料化での受付は。

**答** タワー内の道の駅受付業務として、現在3人いま



展望塔が入場無料となるスカイトワー

す。引き続き配置されると思います。

●**平成22年度一般会計補正予算**

**問** 住宅リフォーム補助金の件数は。

**答** 1月現在で508件、2～3月は89件で、597件の予定です。

●**平成23年度市一般会計予算**

**問** 戸別所得補償制度推進事業費委託金の積算根拠は。

**答** 水田面積と農家戸数が基準で天王地区1,448ha、昭和地区945ha、飯田川地区706haです。



今年も継続する住宅リフォーム補助金

**答** 例年に比べると、今冬は1・5倍程度降雪量が多く、一斉出動の回数6回で、1回当たり600万円から1,000万円程度の支出です。

**問** 入札に関して、地元業者を優先的に選定しているか。

**答** 工事規模や工事種類によっても変わりますが、基本的には市内の業者を優先的に指名しています。

●**平成23年度農業集落排水事業特別会計予算**

**問** 豊川地区排水施設の高度処理化とは。

**答** 平成25年4月からの八郎湖流域の排水基準以下にするため、リンの除去装置を設置、リンをリン化鉄にして沈下汚泥処理するものです。

**問** 地域活性化イベント事業費は。

**答** 打ち上げ花火、キャラクタショー、会場整備の委託料です。

**問** 除雪委託料について、一斉出動した場合の経費は。

## 湖東地区行政一部事務組合

3月22日、定例会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

平成23年度  
一般会計予算

総額は  
**5億3,541万6,000円**  
 前年度比 3,457万2,000円の減

主なものは

消 防 費 4億7,351万4,000円  
 衛 生 費 1,959万4,000円

構成市町の  
負担金

潟上市 2億6,532万8,000円  
 八郎潟町 1億4,125万8,000円

井川町 1億2,050万7,000円

※湖東地区行政一部事務組合は、消防・救急業務（旧天王町区域を除く）、湖東地区斎場の管理を行っています。

## 男鹿地区消防一部事務組合

3月24日、定例会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

平成23年度  
一般会計予算

総額は  
**13億2,957万3,000円**  
 前年度比 1,892万4,000円の減

主なものは

消 防 費 11億6,982万円  
 総 務 費 1億2,019万1,000円

平成23年度  
大型化学消防車  
等特別会計予算

総額は  
**3,938万6,000円**  
 前年度比 2,894万4,000円の増

主なものは

消 防 費 3,474万8,000円

構成市村の  
負担金

男鹿市 7億2,151万5,000円  
 大潟村 1億2,584万1,000円

潟上市 4億4,403万9,000円

※男鹿地区消防一部事務組合は、消防・救急業務を行っており、本市では旧天王町地域が管轄となっています。

## 男鹿地区衛生処理一部事務組合

3月25日 定例会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

平成23年度  
一般会計予算

総額は  
**2億7,992万5,000円** 前年度比 1,522万円の増

構成市の負担金

男鹿市 1億9,523万6,000円 潟上市 8,015万8,000円  
 負担金は5分の1が均等割、5分の4が利用割となっています。

※男鹿地区衛生処理一部事務組合は、し尿処理を行っており、本市では旧天王町区域の処理を行っています。

### 編集後記

未曾有の東北関東大震災に遭遇されたみなさまに、心からお見舞い申し上げますとともに一刻も早い復興を心からお祈り申し上げます。

本市は議会開会中でしたが、直ちに中断して対応されました。危機管理の大切さを改めて知らされました。

私たちが編集委員として活動以来早や一年、一般質問をはじめ、庁舎建設問題に関する特別委員会、多くの市民からの要望があった議会報告会等の内容をお伝えすることができました。しかし初めての報告会で反省点も多く今後の課題だと思います。議会の内容が具体的に伝わるよう委員一丸となって頑張ります。

(藤原幸雄記)